

企業紹介

多様なニーズに対応した金属板加工技術で、大型建築物の屋根をつくる

KOMASUYA
ULTEC 株式会社 コマスヤアルテック

代表取締役社長 今井 正仁
〒940-1139 長岡市高島町973番地
TEL 0258-23-7001 FAX 0258-23-7002
<http://komasuya-ultec.com/>

業 種：製造業
本 社：長岡市
資 本 金：1,000万円
業 務 内 容：建築資材・屋根及び外壁材の設計・製造

大正元年創業の(株)コマスヤアルテック。卓越した金属加工技術を有する屋根材設計・製造業者として、着実に実績を重ね、建築物の最終段階における外観とその保護に対する責任を担ってきた。今年創業105周年を迎えた同社は、多様なニーズに対応すべく設備と技術に一層磨きをかけていく。

家庭用金物製造から屋根材設計製造へ業種転換

同社は長岡市で大正元(1912)年創業。当時需要が多かった鍋などの家庭用金物製造(旧社名:古桝屋金物)から事業を開始した。現在のような屋根材を中心とした建築資材の製造に業種転換したのが昭和45(1970)年頃なので、それ以降でも既に半世紀近く事業を続けている。その間、着実に金属板加工技術による工事实績を重ね、建築物の最終段階における外観と、その保護に対する責任を担ってきた。同社の経営理念は「コマスヤアルテック」という現社名においても表れている。「アルテック」は、「ultimate(究極の)」と「technology(技術)」を合体した造語。究極の技術を駆使し、お客様のニーズに応えていこうとする強い意欲と自信が感じられる。

「ややこしい」技術が必要な工事に真価を発揮

同社の強みの一つは、究極の加工技術を武器に、大手企業でさえ敬遠しがちな「ややこしい」仕事を請け負える点にある。

特に、金属板を建築現場へ運び、現地で多様な形状に仕上げる加工技術には定評がある。これまでに、数多くの公共施設・大手工場の屋根や外壁の大型工事などを手掛けてきた(主な施工例:新幹線変電所、長岡市立北部体育館、子ども園など)。そうした積み重ねが地域内外の信頼を高め、地元業者ではなかなか受注できない大型工事への参入を可能にしている。さらに、実績に裏付けられた自信が次の大きな仕事へとつながっていく。もちろん、その陰には、今井正仁社長はじめ営業のためまぬ努力があったことは言うまでもない。

次世代を担う若い力が充実している社員体制

同社の現在の社員数は28名。次世代を担う若い社員が多い。「若い人には自分こそ会社の後継者だという気概を持って仕事をしてほしい。」と熱く語る今井社長。エネルギーな社風の醸成には年1回行う海外への社員旅行も一役買っている。移動の時間に十分研修した後、旅行先では大いにはしゃぎ、楽しむ。メリハリをつけ、オンとオフをはっきりさせている。

同社は今年7月に創業105周年記念式典を行う予定である。歴史は古いが、社内には若さがみなぎっているように感じる。社会環境の変化に対応し、地域に欠かせない建築物の屋根や外壁をつくる同社は、これからも若い力を結集させ、更なる躍進を続けていく。



▲屋根材が印象的な本社外観



▲同社が手掛けた認定子ども園の屋根



▲加工センターから建築資材を積んで出動



▲社員の士気を高める研修旅行